

部 局 経 営 方 針

平成20年度

薩摩川内市

部局名	商工観光部	部局長名	田 上 正 洋
-----	-------	------	---------

部局の 経営資源	当初予算	10.9 億円		
	構成人員	職員	嘱託	計
		41人	8人	49人
うち 自動車 運送事業 (甌島バス)	(12人)	(6人)	(18人)	

<p>部局の使命 (組織の存在価値)</p>	<p>商工観光部は、商工業の活性化、優良企業の誘致、地域公共交通の整備、川内港における物流・交流の増大、観光客の積極的誘客により地域経済の発展に貢献するとともに、国際交流の促進を図り市民の国際感覚の醸成に貢献します。</p>	<p>組織目標像</p>	<p>【施策の目標像】 中心市街地活性化対策が推進され、来街者が増加 既存企業の活性化、新規企業立地により、就労機会が増加 甌島航路及びバス、鉄道等公共交通網の充実、及び高速交通網との連携により、交流人口が増加 川内港の港湾機能拡充、国際定期航路の増便等により、港湾貨物取扱量が増加 観光資源や温泉資源の活用が進むとともに、市民に「おもてなしの心(ホスピタリティ)」が浸透し、体験滞在型観光(ツーリズム)を中心に観光客が増加 市内企業の外国との経済交流が進み、貿易額が増加 市民レベルの国際交流が進み、市民の海外渡航者、外国人の本市来訪者が増加</p> <p>【組織の目標像】 協調融和の部内グループ体制ともいえる明るい組織 チャレンジ精神、良き競争心、長期的・地球的視点を持った職員の協同体 危機管理が徹底し、何事にも正確・迅速に対応できる組織</p>
----------------------------	--	--------------	---

部 局 経 営 方 針

平成20年度

薩摩川内市

平成20年度の重点事項と目標達成に向けた主な取組内容

重点事項	具体的な成果目標（めざそう値）	具体的な取組内容	進捗状況（年度中間）	年度末の達成状況
1 中心商店街の活性化 【商工振興課】	中心商店街空き店舗率 （15.0%） 中心市街地1日歩行者通行量 （山形屋前 700人） （タイヨー前 1,250人） （南日本銀行前 410人）	中心市街地活性化基本計画の認定に係る関係機関協議 上記計画事業メニュー実現のための関係機関協議・調整 農商工連携の促進（空き店舗活用特産品販売所及びチャレンジショップ開設等） ㈱まちづくり薩摩川内の設立及び事業展開の支援		
2 地域公共交通の活性化 【商工振興課】	コミュニティバス利用者数 （年間24万人）	市内大循環バスの検討の実証運行に向けての調査研究 デマンド交通システム（登録制予約乗合方式）導入の調査研究 安定したコミュニティバス（くるくるバスなど）の継続運行		
3 企業の拡張・新規立地促進 【企業・港振興課】	新設・増設企業 （3社） 新規雇用者数 （120人）	高城町西町2号用地の整備 企業訪問の実施 内陸部・臨海部工業団地の検討		
4 川内港・甑島航路の実現 【企業・港振興課】	川内甑島間高速船就航案の決定	甑島市民への情報提供 甑島商船㈱との就航船舶，航路設定等に関する協議 国・県との補助航路協議 県との関連港湾施設整備協議		

部 局 経 営 方 針

平成20年度

薩摩川内市

<p>5 川内港コンテナ 航路の拡充 【企業・港振興課】</p>	<p>年間コンテナ取扱数 (1万TEU)</p>	<p>ポートセールス(関係企業・団体訪問, 輸出入情報収集,川内港PR)の実施 ポートセミナー(関係企業・団体研修 会)の開催(東京) 船会社(韓国・興亜海運)訪問 中国・常熟市港管理局との交易促進協 議</p>		
<p>6 観光都市への 基盤整備 【観光課】</p>	<p>日帰り客数 (年間200万人) 宿泊客数 (年間 35万人) 観光ガイド登録者数 (30人) 宿泊施設客室増加数(300室)</p>	<p>大手旅行社等からの観光アドバイザー 招聘 観光協会の組織拡充 市内宿泊施設の拡充 新たな旅行パックの造成 大手旅行社等と連携した関西・中国・ 北部九州からの誘客活動の実施</p>		
<p>7 ツーリズムの 促進 【観光課】</p>	<p>体験農家登録数 (100軒) グリーン・ツーリズム参加者数 (年間300人) ブルー・ツーリズム参加者数 (年間200人)</p>	<p>ツーリズム受入れ態勢の整備 農家・漁家体験メニューの充実 教育旅行誘客活動に係る関係機関訪問</p>		
<p>年度中間総括</p>				
<p>年度末総括</p>				